

## 後期基本計画（案）に対する意見の対応等について

## 1 パブリックコメントにおける意見の対応

## (1) 意見公募期間

平成30年10月2日（火）～10月31日（水）

## (2) 意見数

25件（3人、1団体）

## (3) 意見への対応（案）

ア	計画案に反映するもの	4件
イ	計画案に一部反映するもの	2件
ウ	計画案に反映できないもの	16件
エ	計画案に記載済のもの	3件

## 【(1) 計画案に反映するもの】

No.	政策分野 （施策）	頁	意見（原文）	意見（要旨）	回答の方向性
1	健康福祉 分野 3-2-1	46	最適なサービス提供に関して、「上越版オレンジプラン」とありますがオレンジプランがどのようなものかわかりませんので説明が必要と思います。	・「オレンジプラン」がどのようなものかわからないので説明が必要である。	・オレンジプランを説明する文言を簡潔に加える。
2	産業・経 済分野 4-2-1	62	観光地域づくりに関して、「積極的に取り組む人材の育成、支援に努めます。」とありますが人材に育成に取り組んでいる実態が見えません。どのような計画をしているかイメージ的にでも記述しないと絵に書いた餅としか感じられません。	・観光地域づくりに関して、人材育成の取組の実態が見えないので、計画のイメージだけでも記載すべき。	・取組のイメージが伝わるよう、文言を見直す。
3	農林水産 分野 5-1-1	68	1 生産基盤の強化の項の、4行目に以下一行加えていただきたい。 ・農作物の安定供給を図るため、鳥獣被害の防止対策を行います。 (理由) なぜこれが削られたかわかりませんが、中山間地のみならず現状では農業者にとって最大の課題です。是非入れてください。	・生産基盤の強化について、農作物の安定供給を図るため、鳥獣被害の防止対策を記載してもらいたい。	・鳥獣被害の防止対策は、中山間地域以外においても必要な取組であることから、記載を追加する。

No.	政策分野 (施策)	頁	意見 (原文)	意見 (要旨)	回答の方向性
4	農林水産 分野 5-2-1	71	<p>現状と課題</p> <p>○印項目、上から4ヶ(12行)、お手盛りの評価、わかりますが長すぎます。というか、一番最後の(このことから)以下が短すぎ。本当はここが本文でしょう。総合的な支援という言葉で曖昧に聞こえます。もう少し具体策が欲しいです。</p> <p>(理由) 私は生活の糧を中山間地で得ていますが、過疎と高齢化は甚だしいですが、高齢者の働きは、地域内での作物の有料・無料のやり取り、近隣の子供たちや、遠い縁者への贈り物として大活躍です。この経済効果と、コミュニケーション効果は活性化の最大要素と思います。ここで問題なのが鳥獣被害です。今は一人で畑にも行けません。人口増加策や労力不足対策もいいですが、まず今そこで生活している人たちの安心安全対策を入れてください。このままでは相当な勢いで離農者が出ます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「実情に配慮した総合的な支援により集落の維持・活性化を図る」という表現が曖昧であるので、もう少し具体策を記載すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣による農作物被害の深刻化は重要な課題であることから、現状と課題に鳥獣被害の記載を追加する。</li> </ul>

## 【(2) 計画案に一部反映するもの】

No.	政策分野 (施策)	頁	意見 (原文)	意見 (要旨)	回答の方向性
1	農林水産 分野 5-1-1	68	<p>2 所得の向上の項の最後の行の「輸出促進に向けて関係団体との連携促進を図ります」を削り、以下に変更してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地産地消を推進し、地場農産物の消費拡大を進めます。</li> </ul> <p>(理由) 輸出促進も肯定しますが、その対象は一部でしょう。それより、地産地消、消費拡大は全農家・全地域が対象になり、所得の向上と言う視点でも効果は大きいと思います。地元の農家のものを市内の人に買ってもらい、地元の商店からお互いに買い支え合う仕組みが出来たらと考えます。是非入れてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所得の向上について、対象者が限定される農作物の輸出促進ではなく、地産地消の推進により地場農産物の消費拡大を進めることを記載すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外販路開拓の必要性を説明する。</li> <li>地産地消による農産物の消費拡大の表現を追加する。</li> </ul>

No.	政策分野 (施策)	頁	意見 (原文)	意見 (要旨)	回答の方向性
2	都市基盤 分野 7-1-2	88	<p>1 地域交通の利便性向上</p> <p>「・市民の生活に身近な公共交通を確保し、利便性の向上を図るため、次期総合公共交通計画を策定し、バス路線の階層化や自助・互助を含めたきめ細かな運行形態の導入など、機能的・効率的かつ持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を目指します。」「・えちごトキめき鉄道や北越急行の経営安定化に向けた支援を行うとともに、鉄道とバスの利用促進に取り組みます。」と記載されていますが意見提案</p> <p>様々な啓発や支援を行ってようのですが、鉄道とバスの利用促進の取り組みとして行政、教育施設、企業など全市的な取組として可能な範囲で自主的に公共交通の利用を図っていくことが重要だと思います。少子高齢化社会を見据え、高齢者、障がい者、子供をはじめ、誰もが安心安全かつ快適に移動できる交通環境の形成を図ることが重要ですので今後もバス事業者や民間企業などと連携しながら、利用者増加への取り組みは当然のことながら、運行形態の見直しとして市内の山麓線、上越大通り、県道186号線周辺などの人口密集地と駅を接続する夜間20時までの循環バスの試験運行、学生向けの夏期間、冬期限定の循環バスの試験運行。</p> <p>リージョン周辺や中央病院周辺などの郊外エリアに乗り換え拠点を計画的に整備するなど街中エリア、郊外エリア、中山間エリアと鉄道、バス、乗り合いタクシーなどを効果的に接続する円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立すべきだと思います。</p> <p>鉄道とバスの利用促進と同時に、鉄道や路線バス、タクシーだけではなく、徒歩や自転車を提唱しそれらを組み合わせた交通移動ネットワークを構築、促進することで地球温暖化への考慮や健康増進にも役立てましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交通の利便性向上について、少子高齢化社会を見据え、誰もが安心安全かつ快適に移動できる交通環境の形成に向け、バス事業者や民間企業等と連携しながら、利用者増加の取組や、運行形態の見直し、循環バスの試験運行のほか、円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全かつ快適に移動できる交通環境を提供することを追加記載する。</li> </ul>

【(3) 計画案に反映できないもの】

No.	政策分野 (施策)	頁	意見 (原文)	意見 (要旨)	回答の方向性
1	防災・防犯 分野 1-2-1	24	<p>地域消防体制を検討中とのことですが、地域にあっては、団員になり手の現役世代が少なく、また、消防団員に勧誘しても、本人よりも「家族が断る」と言われております。</p> <p>厳しい労働環境の中で、団員になりたい気持ちは、理解できます。団員経験のあるOBを、準団員として編成に加えるなり、地域で経験のある高齢者に協力を求める等の策があっても、良いのではないのでしょうか。連合演習に際しては、1カ月或いはそれ以上に渡って演習を繰り返し、時には照明を付けての演習も、そろそろ再考する時期に来ているのではないのでしょうか。企業とも相談して、団員になりやすい環境作りが必要であると思います。(地域では、祭りの担い手も不足し、行事に支障を来しているとも。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の消防体制について、消防団員のOBを準団員として編成に加え、経験のある高齢者に協力を求めるほか、連合演習の再考や、企業とも相談して団員になりやすい環境づくりを行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実施手法への提案であるため、計画の本文には反映しないものの、事業実施において参考とする。</li> <li>回答においては、実施済の取組(消防部の再編成や団員の処遇改善の検討)を説明する。</li> </ul>
2	健康福祉分野 3-2-1	46	<p>介護予防の推進に関して、「啓発講座を実施します。」としていますが年間の実施回数と参加人数の計画の記述がないと計画がわかりません。また、市民全体の対象者が何人いてどの程度実施済みなのかわかりませんので基本計画といえども記述が必要と考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防の推進について、啓発講座の年間の実施回数と参加人数とともに、市民全体の対象者数と実施人数を記載する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実施回数等の記載を求めるものであるため、計画の本文には記載しない。</li> <li>回答においては、実施回数を説明する。</li> </ul>
3	健康福祉分野 3-2-1	46	<p>生きがいつくりの推進・出番の創出に関して、なぜ高齢者の生きがいを作ってやらなければならないのかという疑問があります。生きがいは個人の問題として個人個人が取り組むことではないかと考えます。また、出番という表現に違和感があります。ここは、生きがいつくりの推進は削除する、「出番の創出」は「活躍の場の創出と提供」とするよう提案します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の「生きがいつくり」は個人が取り組むことであるため、記載を削除すべき。</li> <li>また、「出番の創出」は「活躍の場の創出と提供」と表現すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の生きがいつくりの必要性(生涯を通じた心身の健康など)を説明する。</li> <li>「出番」の表現を用いた意図(地域において高齢者が知識・経験等をいかし主体的に行動できる状態を創出)を説明する。</li> </ul>

No.	政策分野 (施策)	頁	意見 (原文)	意見 (要旨)	回答の方向性
4	健康福祉分野 3-2-1	46	生きがいつくりの推進・出番の創出に関して、「趣味活動等への参画に対する支援を行い」とありますが老人クラブや趣味の家に参加している人は限られて来ています。特に老人クラブへの参加者は減少しています。従って、これらに対する支援だけでなく、より幅広く大勢の人に活動してもらう施策として5名以上の活動団体に対して活動計画や予算書の提出を条件に幅広く助成する施策を提案します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>趣味活動等に幅広く大勢の人に参画してもらう施策として、5名以上の活動団体に対して活動計画等の提出を条件に助成を行うことを提案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実施手法に関する提案であるため、計画の本文には記載しない。</li> <li>既存の補助制度について説明する。</li> </ul>
5	健康福祉分野 3-3-1	52	子供の育ち支援の充実に関して、「市内2か所あるこどもセンターや子育てひろば等において・・・交流の場を提供」とありますがこれらの施設は人口集積地を中心に数を増やして利用しやすい環境整備が必要と考えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもセンターや子育てひろば等の施設について、人口集積地を中心に増やし、利用しやすい環境を整備する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもセンター等の人口集積地への増設は、必要に応じて検討することであるため、計画案には記載しない。</li> </ul>
6	健康福祉分野 3-3-1	52	目標に合計特殊出生率がありますが、目標とするからにはこれに対する本文への記述が必要と思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>合計特殊出生率の目標について、目標とするからには、その内容を本文に記載すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標は本文に記載する取組の成果指標であるため、必ずしも本文に目標の文言を表記するものでないことを説明する。</li> <li>その上で、「合計特殊出生率」は、本施策のほか、就労支援等の関連する取組を合わせた総合的な効果を表わす指標であることを説明する。</li> </ul>

No.	政策分野 (施策)	頁	意見 (原文)	意見 (要旨)	回答の方向性
7	産業・経済 分野 4-2-1	62	観光の振興に関して記述していますが、究極の目的は観光で経済効果を得ることなのではないでしょうか。ここは観光の産業化を強く意識した記述が必要と考えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興の究極の目的は、観光で経済効果を得ることであるので、観光の産業化を強く意識した記載が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興の目的は、市や観光関連事業者に加え、市民や市民団体、産業の担い手が連携して魅力的なまちをつくることであり、その効果として地域経済の活性化につながることを説明する。</li> </ul>
8	農林水産分野 5-1-2	69	現状と課題の最後の行「推進していく必要があります。」を「推進します。」にしてください。 (理由) はっきりと意思表示すべきと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「林業と水産業の担い手の確保や… (略) …を推進していく必要があります。」の表記を「… (略) …推進します。」と明確に意思表示すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「現状と課題」では、課題としての対応の必要性を記載し、「施策の柱」に対応となる取組を記載する構成であることを説明する。</li> </ul>
9	農林水産分野 5-1-2	70	3 林業と水産資源の維持の最初の行「除間伐などの森林整備を」を「除間伐などの有効活用を図り森林整備を」に加えて頂きたい。 (理由) 具体的に意味がよく通じると思っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「除間伐などの森林整備を推進します。」の表記を「除間伐などの有効活用を図り森林整備を推進します。」にした方が分かりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林資源を持続的かつ有効に利用するための手段として除間伐を行うこと、また、間伐材の有効活用については所得向上の取組であることを記載済みであるため、原案のままとする。</li> </ul>
10	農林水産分野 5-2-1	71	○印最後の行の「務める必要があります」を「取り組みます」に。 (理由) 意思がより通ると思っています	<ul style="list-style-type: none"> <li>「移住者の受入促進と関係人口の増加により地域の労力不足の解消に努める必要があります。」の表記を「… (略) …解消に取り組みます」とした方が分かりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画全体の構成として、施策別に現状と課題（取組の必要性）を整理し、施策の柱別に取組内容を記載することで統一を図っていることを説明する。</li> </ul>

No.	政策分野 (施策)	頁	意見 (原文)	意見 (要旨)	回答の方向性
11	農林水産分野 5-2-2	74	<p>2の一行目、「高齢者や女性農業者の…」を以下に変更いただきたい。</p> <p>・小規模農業者の…又は、生産者の…に。 (理由) 高齢者や女性に元気を出してもらいたいのは分かりますが、以下に続く園芸作物・加工品となると、とても担いきれません。6次産業にかかわる女性たちは寝る間もないほど働いているのが実態だとお聞きします。食=女性とは捉えないでください。</p>	<p>・「高齢者や女性農業者の生きがいがづくり」の表記を「小規模農業者の生きがいがづくり」又は「生産者の生きがいがづくり」とすべき。食と女性をイコールで捉えないでいただきたい。</p>	<p>・高齢者や女性農業者の活躍の場として園芸振興や食品加工を例示したものであることを説明する。</p>
12	教育・文化分野 6-1-2	77 78	<p>学校におけるいじめ対策と部活顧問のあり方について</p> <p>全国で、いじめ件数が41万件を超え、自ら命を絶った子どもの数は250人に及んだと報じられています。県内でも2人の男子生徒が亡くなり、1~2年経って、漸く第三者委員会の調査結果が出て、「いじめ」が原因であったと報告されています。</p> <p>上越市では、『いじめゼロ、自殺ゼロ』を数値目標として、取り組むべきです。これまでの事例をみると、学校では担任の先生が抱え込み、内部でことを済ませようとするあまり、教育委員会や自治体中核にも報告されず、また教育委員会も、極力内々で処理しようとの思いがあるように、思えてなりません。それ故に、未然防止を大前提に、第三者委員会による調査も保護者に寄り添いながら、極力短時間で結果をまとめる努力が、必要であるものと思います。第三者委員会の構成メンバーも、問われているものと思います。</p> <p>(新発田市の事案で、保護者に「お前もくるか」発言で、調査委員が辞職した悪例があります。)</p>	<p>・いじめ対策について、『いじめゼロ、自殺ゼロ』を目標として掲げて取り組むべき。</p>	<p>・いじめは、対策を徹底しても起こりうることであるため、些細ないじめを見逃さない姿勢や対応により、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、自殺などの重大事態の回避につなげる必要があることを説明する。</p>

No.	政策分野 (施策)	頁	意見 (原文)	意見 (要旨)	回答の方向性
13	教育・文化 分野 6-1-2	77 78	<p>先生の働き方改革の一貫として、部活顧問の先生の負担軽減をはかるべく、部活に外部コーチの招聘が検討されていると聞いております。外部コーチは、技術のみではなく、部活を通して、教育的な指導もでき、公平・公明な人材であってほしいと思っています。</p> <p>部活にスポーツを選んでいる生徒の多くは、放課後もそれぞれに「クラブ」へ通い、レベルアップを目指しています。例えば、Aクラブの指導者がB校の外部コーチになった場合、B校からCクラブに通っている生徒に、差別的な言葉の暴力があったりしないか、即ち、公平性に欠け、自分のクラブに通う生徒を「ひいき」にすることと言えます。</p> <p>こうした事例が、既にあるとの風評も耳に入っており、純粹で過敏な生徒は、こうした一言で滅入ってしまい、籠ってしまっは大変です。外部コーチの招聘には、顧問の先生、生徒、保護者の意見も聞き、慎重に導入してほしいと願うものです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の外部コーチについて、技術のみではなく、部活動を通して教育的な指導も行うことから、公平・公明な人材であるべきなので、顧問の先生や、生徒、保護者の意見も聞き、慎重に導入してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的取組に関する提案であるため、計画に反映しないが、部活動指導員の制度導入の検討状況を説明する。</li> <li>あわせて指摘の事態が生じないように留意することを説明する。</li> </ul>
14	都市基盤分野 7-1-2	87 88	<p>公共交通、特にバスの運行について、高齢者による車の運転で、事故件数が増加傾向にあり、社会問題になっています。免許返納すると、所謂「足が無くなり」、外出や買い物がままならなくなることが明らかであり、返納に応じることができず、それ以上に、雨や雪が降れば遅れる、運休する、更には、時間通りに来ないバスの運行状況では、利用したくないのが本音です。日中、運行するバスの乗客は極く少なく、こうした現状を踏まえて、まずはバスを小型化し、正確な運行を心掛けて、交通弱者の足となるよう改善を望みます。</p> <p>高田に集中する高校に通う、高校生に対する何らかの助成を、検討してもらいたい。</p> <p>JR 或いはほくほく線から、トキ鉄に乗り継いで通うのは、本人はもとより、保護者も大変な思いで頑張っています。特に冬期間は、家族全員の応援が必要な状況です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通について、正確なバスの運行を心掛け、交通弱者の足となるよう改善するとともに、高田に通う高校生に対する助成を検討してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的取組に関する提案であるため、計画に反映しない。</li> <li>高校生への支援の現状（事業者による定期の割引、通学100円バス運行）とともに、新たな助成は検討していないことを説明する。</li> </ul>



No.	政策分野 (施策)	頁	意見 (原文)	意見 (要旨)	回答の方向性
15	都市基盤分野 7-2-1	89 90	<p>土地活用の具体策の提示と実行を合併して13年、中心市街地或いはその周囲については、それなりに「まちづくり」が進められています。周辺13区については、町並みに大きな変化は見られず、寧ろ、人口減少と共に、空き家、空き地の増加が進行し、中山間地はもとより、平場にあっても、疲弊傾向にあるのが現状です。幸いに、大潟区では「新体操アリーナ」の建設が決定し、2019年12月竣工の予定で、工事が進められています。「まちづくり」の起爆剤になるのではないかと、期待しています。併せて、立地適正化計画の中で、『居住誘導区域、都市機能誘導区域』に指定されていますので、向後4年間の中で具体策の提示を希望しております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>13区の土地利用について、今後4年間の具体策を提示し、実行してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画には具体策の記載は不要であるため、原案どおりとする。</li> <li>土地利用の基本的な考え方と立地適正化計画、小さな拠点等の制度を踏まえ、長期的な視点によるまちづくりを検討することを説明する。</li> </ul>
16	都市基盤分野 7-2-1	89 90	<p>同時に、区内には都市計画でオーダード方式による、工業専用地域が指定されていますが、この間、企業誘致の兆しは皆無に近い状態です。現地の地目は山林原野であろう(或いは畑地)と推測されますが、地権者の考えを尊重する中で、そろそろ、見直しを検討いただき、用途地域の見直し等により、有効活用をはかるべく、計画案を示していただきたいと思っております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大潟工業団地について、用途地域の見直しを検討し、有効活用を図るための計画案を示してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用途地域の見直しや土地利用の具体的な活用については、個別の計画や取組の中で対応することを説明する。</li> </ul>

【(4) 計画案に記載済のもの】

No.	政策分野 (施策)	頁	意見（原文）	意見（要旨）	回答の方向性
1	市民が主役 のまちづくり	—	人口減少問題は避けて通れない大問題、社人研の推計によれば、上越市の人口は、2040年には約15万人程に減少する（2010年比較で約5万人の減）とされており、間違いなく右肩下がりの線上にあります。専門家によれば、人口減少によって、行政運営にも大きな影響を及ぼすのではないかと、懸念されています。例えば、若手の技術職の不足により、インフラの維持管理もままならず、電子化された事務処理にも追従できなくなるのではないかと、とも言われています。後期4年間、人口減少問題を第一の課題に掲げ、官民協働して解決策を見出す必要があるものと思います。特に、中山間地の人口減少、空家対策が急務かと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少問題を第一の課題に掲げ、官民協働して解決策を見出す必要がある。特に、中山間地域の人口減少と空き家対策が急務である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少の進行は、当市のまちづくりにおける重要な課題として捉え、第6次総合計画の基本構想に記載済である。</li> <li>中山間地域の人口減少対策や空き家対策については各施策において記載済である。</li> </ul>
2	健康福祉分野 3-2-1	46	目標に認知症サポーター養成数がありますが、目標とするからにはこれに対する本文への記述が必要と思えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーターの養成数の目標について、目標とするからには、その内容を本文に記載すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標は本文に記載する取組の成果指標であるため、必ずしも本文に目標の文言を表記するものでないことを説明する。</li> <li>その上で、「認知症サポーター」が本文の取組（「認知症の人とその家族への総合的な支援に取り組みます」）の具体的取組であることを説明する。</li> </ul>
3	農林水産分野 5-2-1	72	1の・印の3番目、「電気柵などの…」項目は絶対に削らないでください	<ul style="list-style-type: none"> <li>有害鳥獣被害防止対策についての記載は絶対に削らないでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害防止対策は重要であるため削除しないことを説明する。</li> </ul>

## 2 市議会総務常任委員会 所管事務調査（11月9日開催）における委員意見の対応

主な意見とその対応は、次のとおり。

No.	政策分野 (施策)	頁	委員の意見等	対応
1	防災・防犯分野 1-1-1	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然災害への対応力の強化」の、災害時に配慮を要する高齢者等の「福祉避難所への確実な避難」の表記について、受け取り方に誤解が生じかねないので、「迅速な避難」としてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「迅速」の意味を含め、対象となる方全員の「確実な避難」を図るため、原案どおりとする。</li> </ul>
2	防災・防犯分野 1-2-2	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民一人ひとりの防災意識の向上」において、災害時に正常性バイアスが働いて避難を妨げることにならないよう、「避難訓練による意識の向上」の表現を記載してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練による意識向上については、共助の取組として、「自主防災活動の推進」の柱の中に記載しているため、原案どおりとする。</li> </ul>
3	環境分野 2-1-3	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大型野生動物の出没範囲」の記載について、住宅地近郊に限定せず、「農地」を加えるべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地も被害が拡大している状況を追加して記載する。</li> </ul>
4	産業・経済分野 4-2-1	62	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標について、「市内宿泊施設の定員稼働率」は上越に滞在した人の数を明確に示しており、重要な指標である。調査方法を含めて検討すべきではないか。</li> <li>・目標について、他の自治体では「泊数」を目標に掲げているところもある。例えば、インバウンドの泊数等を設定できないか検討してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の全宿泊施設のうち、回答は3割程度で、回答施設も毎回異なることから、市全体の宿泊状況や推移を表すには不十分であると判断し、設定しない。</li> </ul>
5	教育・文化分野 6-1-2	78	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の適正配置の目標について、教育委員会が主体となるのではなく、地域の機運を醸成する中で進めるべきであり、具体的な小・中学校数を記載する必要はないのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の適正配置に当たっては、保護者や地域のご理解をいただきながら進めることは当然のことであり、そのためにも教育委員会が主体となって取り組むことが必要と考える。</li> <li>・市内の子どもたちの望ましい学習環境の確保のために、複式学級を有する小・中学校の学校運営協議会での議論が最も重要であることから、目標の項目の文言を変更し、具体的な学校数は記載する。</li> </ul>
6	教育・文化分野 6-2-2	81	<p>「現状と課題」の中に、県立武道館周辺の運動公園の将来構想について記載し、市民が期待を持てるようにすべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存スポーツ施設の機能維持や、必要な施設の整備に取り組んでいることを記載しており、具体的ではない将来構想は記載しない。</li> </ul>